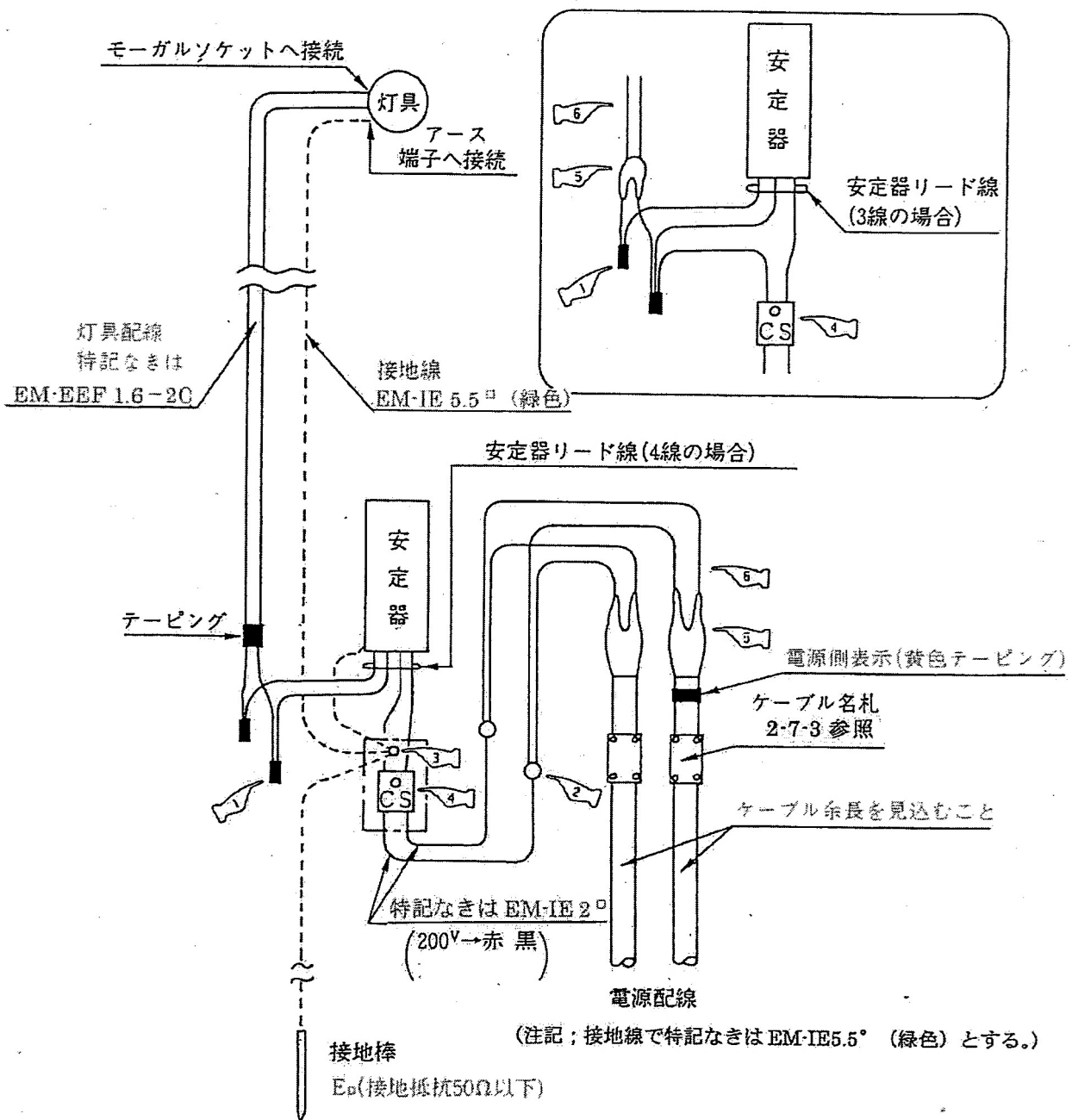


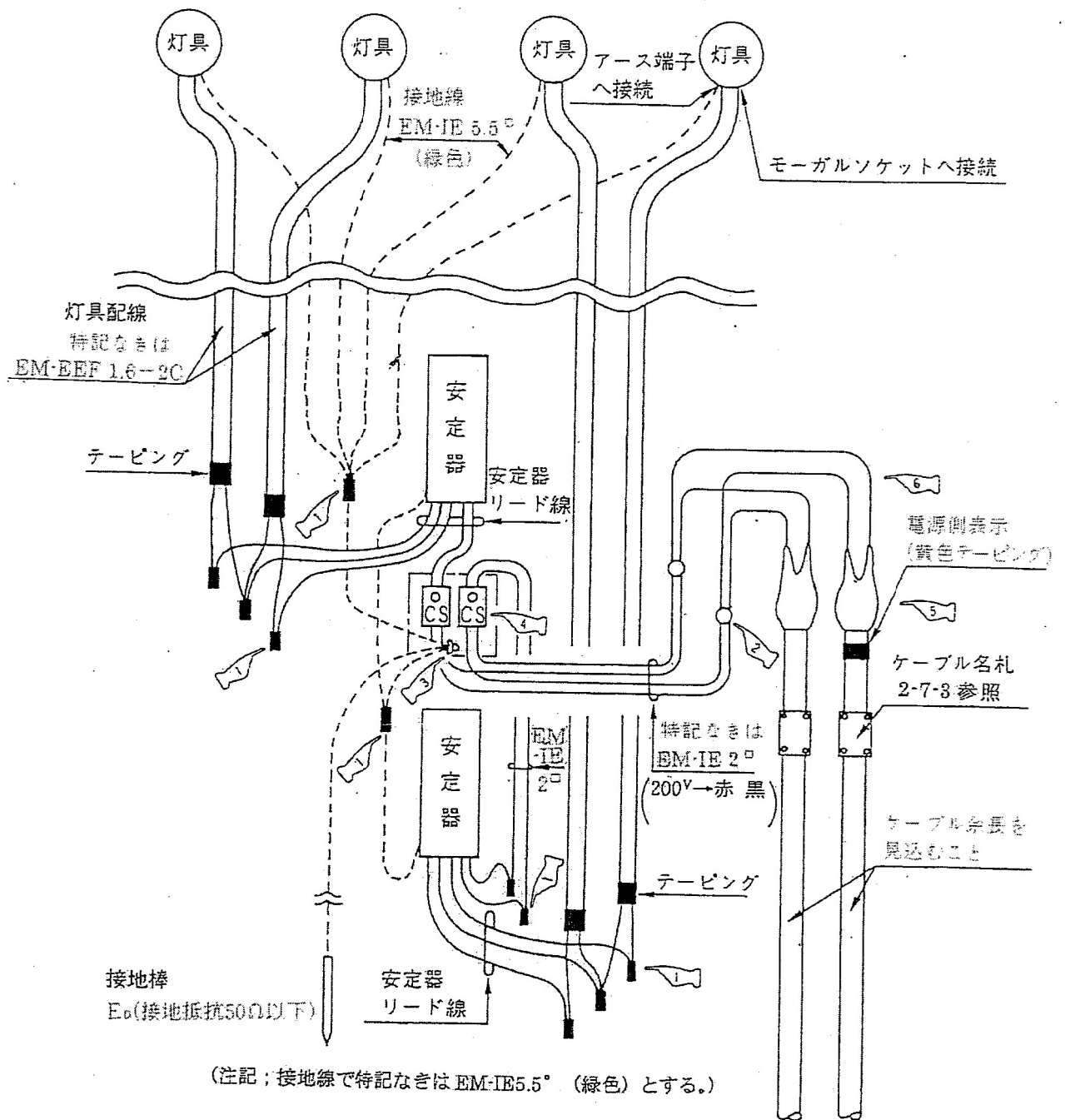
2-3-2 鉄柱内配線処理

2-3-2-1 1灯用安定器1台の場合



- ① 直線重ね合せスリーブ (P形-5.5[□]) を使用する。 (2-7-2-2 参照)
- ② 圧着端子 (R形) を使用する。ただし、末端鉄柱の場合なし。 (2-7-2-2 参照)
- ③ 各々の接地線に圧着端子 (R形) を取付けスイッチ取付板用ボルトに接続。
- ④ カットアウトスイッチ使用の場合
 カットアウトスイッチ (磁器製、5 A つめ付ヒューズ 2 本入り) × 1 個
 ・ 蓋上部半分に開放防止テープピングを施すこと
 ケッチホルダー使用の場合
 ケッチホルダー (塩ビ製、5 A つめ付ヒューズ 1 本入り) × 2 個
- ⑤ ケーブル端末処理。 (2-7-2-1 参照)
- ⑥ ケーブルの相表示色。 (2-7-1 参照)

2-3-2-2 2灯用安定器2台の場合



(注記; 接地線で特記なきは EM-IE5.5° (緑色) とする。)

- 1 直線重ね合せスリーブ (P形-5.5°) を使用する。 (2-7-2-2 参照)
- 2 圧着端子 (R形) を使用する。ただし、末端鉄柱の場合なし。 (2-7-2-2 参照)
- 3 各々の接地線に圧着端子 (R形) を取付けスイッチ取付板用ボルトに接続。
- 4 カットアウトスイッチ使用の場合
 カットアウトスイッチ (磁器製、5Aつめ付ヒューズ2本入り) × 1個
 ・蓋上部半分に開放防止テーピングを施すこと
 ケッチホルダー使用の場合
 ケッチホルダー (塩ビ製、5Aつめ付ヒューズ1本入り) × 2個
- 5 ケーブル端末処理。 (2-7-2-1 参照)
- 6 ケーブルの相表示色。 (2-7-1 参照)